



信仰に生きるしあわせ

みなさん、秋深まる今日この頃ですがいかがお過ごしでしょうか。早いもので今年も残すところ、二か月程になりました。移り行く季節や時間を大切に、当たり前の一昨日に感謝の気持ちを捧げたいですね。さて、右の写真は先日開催された「高德寺・合掌祭」を機に建立した「ほほえみ地蔵」さまです。思えば、ここ数年大きな自然災害などが頻発し、他人事とは思えない不安なニュースを耳にすることが多くなりました。また、コロナ禍以降の地域社会が大きく変化し、人と人とのかかわりも希薄になりがちです。仏事の内容や葬儀のあり方など、心配事にはきりがありませんが、少しでも明るい世の中でありますように、そして地域の皆さんにとって笑顔の多い日常でありますようにとの「願い・祈り」を込め今般、お迎えしたお地蔵さまです。尚、神奈川県鎌倉市にある長谷寺様に祀



高德寺の「ほほえみ地蔵」さま
是非に頭を撫でてお参り下さい

られている「なご

み地蔵」は同じ製作者が彫られた兄弟地蔵とも呼ばれております。小さなお子さんにも手を合わせる尊さを育んでもらいたいと切に願います。何より大変貴重なご縁を頂きましたのでお寺に来られた際は、遠慮なく撫でていただき沢山のご利益を頂いてほしいと思います。さて、今年の「合掌祭」はご案内しましたように「父と暮せば」の二人芝居と「じぞうもじ」の作品展でしたが県内外から130名程の皆さんに会場いただき盛大に開催することが出来ました。俳優さんの病気の告知からの復帰などもあり「生きる事」の意義や尊さが非常に心に沁み感慨深い思いでした。また、戦後の広島が舞台ですので「平和」に生きる事について今一度立ち返る機会になりました。あたりまえの日常がどれほど有難いことか、信仰に生きる尊さを次世代に伝えていく事も私たちの使命かと思ひます。



鎌倉・長谷寺の「なごみ地蔵」さま



置賜各地から集まった子供達の夏休み「禅の集い」での食事風景



学童保育「風の子クラブ」坐禅会

◆今年の夏も猛暑に見舞われ、また秋にかけて残暑厳しい中ではありましたがお寺では様々な行事や取り組みが行われました。

◎まずは夏休み期間を利用し子供たちを対象とした坐禅会が2度開催されました。始めは、置賜地区の子供たちを集めた「禅の集い」。かつては一泊で行っていましたが、コロナ過の影響で5年ぶりの開催となり参加しやすさに配慮しての日帰り坐禅会となりました。朝から夕刻まで猛暑に負けず、まさに忘れえぬ修行となりました。

さらには学童保育「風の子クラブ」の坐禅会を厳修いたしました。こちらは毎年行い、おそろいのTシャツにてみんなで連帯感の中、慣れたお作法で背筋もしっかり伸びて坐禅の形が決まっています。参加したご寺院様も一同に驚きの様子でした。

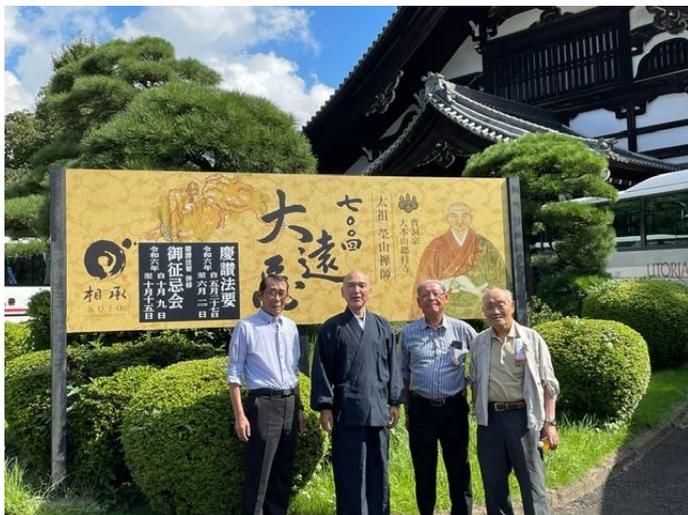
夏から秋にかけて行われた行事の風景



高島町まほらで開催の700回大遠忌記念の奉詠大会

◎ご承知のように本年は總持寺を開かれた瑩山禅師さまが遷化され700回忌を迎え

ました。その大遠忌に因んだ特別な行事が置賜地区でも多く執り行われ、その特別記念事業として大法要に併修し、梅花流詠讃歌奉詠大会が賑々しく開催されました。高島町文化ホール（まほら）の会場一杯の中、厳かに詠讃歌が響き渡り高德寺講の皆さんも日ごろの練習の成果を発揮し、満場の拍手をいただきました。思えば永平寺ご開山・道元禅師さまのみ教えを継承しその教えを日本各地に広められた瑩山禅師さまの足跡をたどり、ご功績を讃え次世代へと伝えて参りたいと思います。



總持寺にて瑩山禪師様700回大遠忌に参加した役員さんと

◎9月に入り、置賜地区のお檀家さん80名を伴い神奈川県鶴見の大本山總持寺参拝に出かけました。過日、お檀家の皆様にもご案内申し上げましたが、高德寺護持会からは佐藤理事長、安部理事、近野顧問の3名が参加。本山での700回大遠忌事業に臨みました。テーマは「相承」(そうじょう)と申して、教えをしっかりと受け継いでいく事です。ご本山に一泊し坐禅体験、早朝より起床し朝の勤行参列や、山内の様々なお堂も見学し、さらには日光東照宮等へも足を延ばし有意義な研修会となりました。50年に一度の勝縁だけに大変感慨深い研修参拝と相成りました。

◎新聞にも掲載され反響の大きかった合掌祭での二人芝居「父と暮せば」。父親役の役者、古川孝さんの「がん告知」からの再起が注目され、たいへんな熱演により会場に大きな感動を与えました。現在も抗がん剤治療を続けながら芝居に落語にと精一杯打ち込んでおられます。この日は主治医の先生も一緒に観劇いたしました。今後も県内各地での公演が予定されておりますので、これからも応援しながら日程などご案内できればと思っています。尚、同時開催の「じぞうもじ」作品展にも多くの方に鑑賞いただき、この日は駐車場も溢れるほどの賑わいとなりました。



合掌祭で公演された「父と暮せば」感動の拍手

合同法事のご案内

日時：11月24日(日)

時間：午前11時～ 高德寺本堂にて

申込み：11月20日(水)までお電話下さい。

☎ 0238-42-2859

その他：塔婆代1本につき千円お願いします。

長男・風雅和尚の研究センター通信

ご無沙汰しています。長男の風雅です。皆さまご承知の通り、東京都にある曹洞宗総合研究センター教化研修部で研究をしています。多くの社会問題や、人々の暮らしの中で、どのようにしてお釈迦さまの教えを広めていくかが、研究の大きなテーマです。高齢者施設の訪問や主催するイベントを通じて、より実践的な研究を行っています。また、仏教の根本的な教えや、曹洞宗の両祖道元禅師・瑩山禅師の教えについて、同僚と共に学びを深めることも大切な活動です。

先日、茨城県にある保育園・幼稚園を訪問し「おぼろさんげき」を上演しました。脚本、演出、音響、衣装など、すべて自分たちで手がけ、園児に仏教を伝えることが目的です。今年は「思いやりのある言葉」を意味する禅語「愛語」をテーマにしました。「思いやり」があるからこそ「思いやりのある言葉」が生まれると伝え、園児たちには「やさしいところ」の大切さをお話ししました。上演後の反応を見ると、愛語が伝わったことが感じられ、非常に達成感のある活動となりました。

研究センターへ進むことを後押ししてくれた住職と母、そして何より、ご理解をいただいている檀信徒



の皆さまに、改めて感謝申し上げます。また、お寺の檀務でお会いする機会があると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。これから寒さが増してまいります。皆さまどうぞご自愛ください。

高德寺ホームページ
koutokujisotozen.com
最新情報はこちらから
ごらん下さい→→→

